

下関市における地域公共交通活性化・再生総合事業〈鉄道関係〉  
(下関市地域公共交通連携協議会)

事業年度  
20~22年度

平成20年度から平成21年度にかけて実施したデマンドバス等の実証運行に基づく地域内バス交通の本格運行にともない、車輛やバス停など施設整備を行うほか、地域における路線バスの再編・実証運行を行う。また、利用者の減少が続く鉄道交通(山陰本線)について、PRなど需要の喚起を促進し、活性化を図る。

【下関市地域公共交通連携協議会】

下関市連合自治会、粟野地区振興協議会、サンデン交通株式会社、ブルーライン交通株式会社、下関タクシー協会、西日本旅客鉄道(株)広島支社、下関警察署、山口県下関土木建築事務所、学識経験者、下関市、国(中国運輸局山口運輸支局)

事業の概要(22年度)

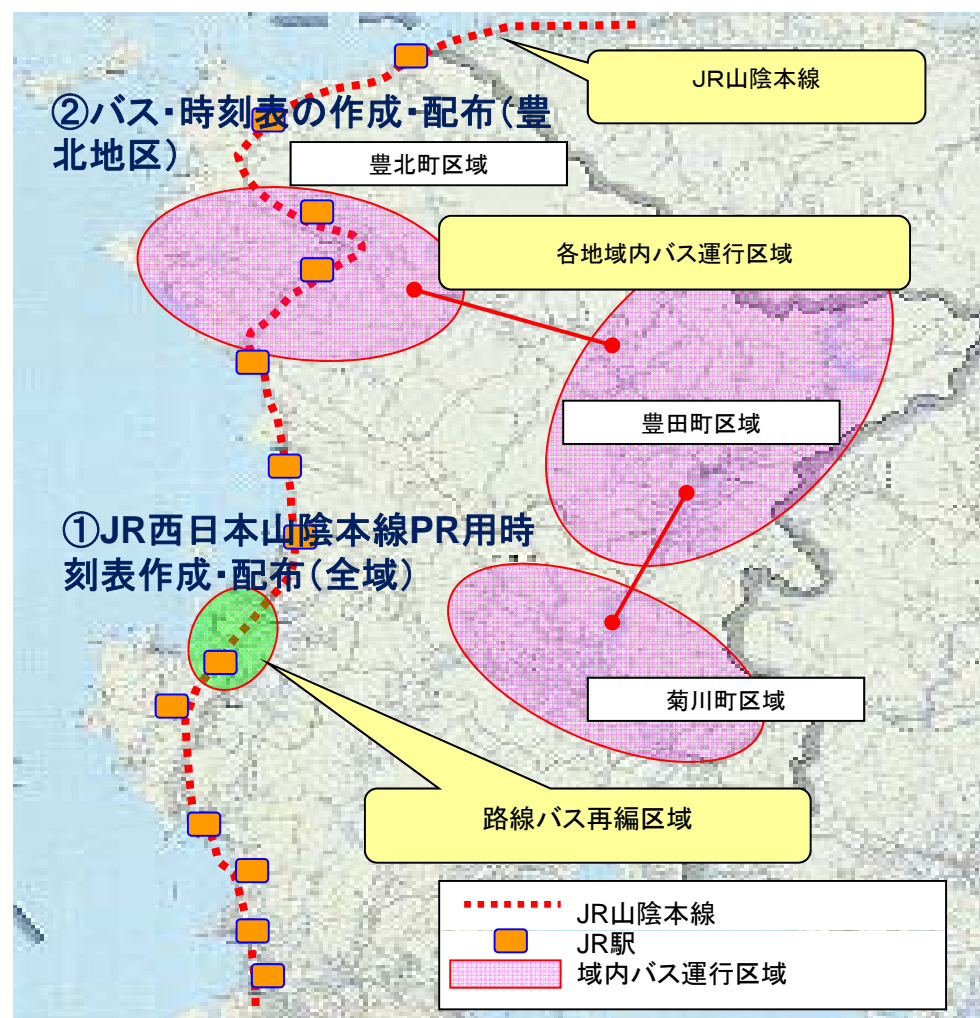
①JR西日本山陰本線PR用時刻表作成 575千円

鉄道の需要を喚起し、鉄道の利用促進と地域の活性化を図るため、沿線の観光地、観光施設等を紹介した時刻表を作成



②バス・JR時刻表の作成 78千円

下関市豊北町の鉄道・バスの利用促進を図るため、鉄道とバスの総合時刻表を作成



## 22年度 導入への プロセス

平成22年2月25日開催の協議会において、広域移動を担う鉄道(JR西日本山陰本線)と地域内バス交通等について連携したPRや時刻表の作成を行い、需要の喚起を促進し、鉄道及びバス交通の活性化を図ることを目的に、次の事業を連携計画の事業に位置づけた。

- ・JR西日本山陰本線PR用時刻表作成・配布
- ・バス・JR時刻表の作成・配布

## 22年度 事業の 効果

### 潜在需要の掘り起こし

- ・JR西日本山陰本線PR用時刻表(24,000部)は、対象の沿線地域全戸へ配布するとともに下関駅～滝部駅間の主要駅でも配布
- ・バス・JR時刻表(3,000部)は、下関市豊北町において全戸へ配布

### JR西日本山陰本線PR用時刻表配布後のアンケート調査結果

鉄道利用者の

- 54.1%がPR用時刻表を使用
- 10.3%が鉄道利用が増えた
- 93.4%がPR用時刻表に対して満足

※アンケート配布数251件(回答数196件)

PRによる効果

## 次年度 以降

### 情報発信による公共交通の利用促進

沿線の観光情報等の掲載やバスと連携した時刻表の作成・配布は利用促進の効果が見込まれたことから、今後も情報発信等による利用促進策の継続が必要